

安中市都市計画マスタープラン策定における
まちづくりに関するアンケート調査結果

アンケート調査の実施状況

「安中市都市計画マスタープラン」を平成27年3月に改定するにあたり、都市づくりに係る市民の皆さんの意識・意向を把握し、それに基づいた計画・プランを策定するために、平成24年11月下旬から12月中旬にかけてアンケート調査を実施いたしました。

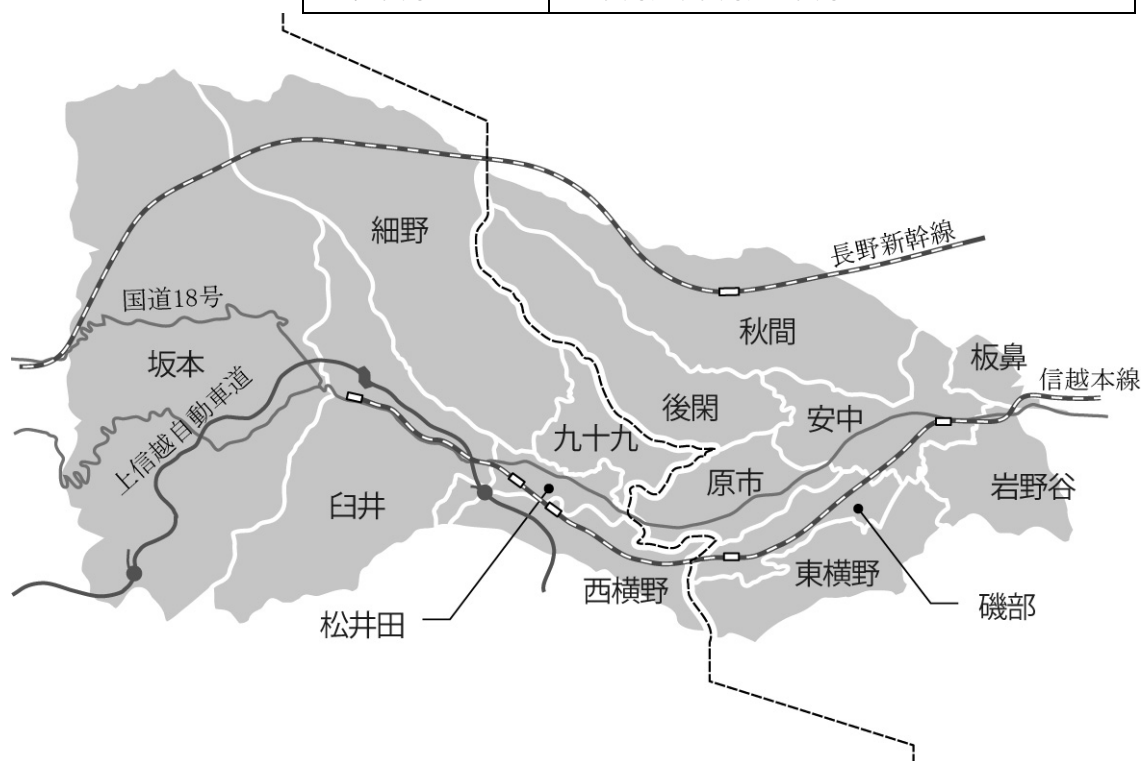
全体で8,471票の調査票を配布した結果、3,177票が回収され、全体回収率は37.5%となりました。

◆アンケート調査票の設問構成

設 問		調査分野	
問1. 回答者の属性、居住履歴	① 性別	回答者の属性	
	② 年齢階層		
	③ 居住地区		
	④ 現住地居住年数		
問2. 都市の施設・機能の利便性の評価	① 都市の施設・機能の評価	都市の現況、まちづくりの課題	
	② 不便な施設・機能		
問3. 都市内の好きな場所（環境）		都市づくり目標	
問4. 目指すべき都市の将来像			
問5. 重点的に進めるべきまちづくりの分野、事項	① まちづくりの分野別	まちづくりの重点分野と分野別の施策展開の方向性	
	② 道路・交通		
	③ 公園・広場		
	④ 産業		
	⑤ 景観		
	⑥ 防災		
問6. 居住地区の環境、公共施設整備の満足度	① 道路・交通の整備状況	地区の環境評価と地区整備の課題	
	② 区園・広場の整備状況		
	③ 買物の利便性		
	④ 公民館等の配置		
	⑤ 災害時の安全性		
	⑥ 街並み・緑の景観		
	⑦ 地域のコミュニティ		
	⑧ 地区環境総合評価		
問7. 現住地居住継続意向と転居希望	① 現住地居住継続意向	地区のまちづくりの目標と施策展開の方向性	
	② 希望転居先		
	③ 転居希望理由		
問8. 永住地を選択する基準、重視する環境			
問9. 地区で整備すべき施設、環境			
問10. 地区の目指すべき将来像、キーワード			
問11. まちづくりのルール、土地利用の規制誘導制度の必要性			
問12. まちづくりへの参加の意向	① まちづくりへの参加意欲		協働によるまちづくりの方向性
	② 望ましい参加形態		
	③ まちづくり情報伝達手段		

◆地区区分

旧 安中市域	
地区名	地区内の該当地域
1. 安中地区	中宿、安中、高別当、古屋、小俣
2. 原市地区	原市、郷原、嶺、築瀬
3. 磯部地区	上磯部、磯部、西上磯部、東上磯部、下磯部、大竹
4. 東横野地区	中野谷、鷲宮、上間仁田、下間仁田
5. 岩野谷地区	岩井、野殿、大谷
6. 板鼻地区	板鼻
7. 秋間地区	西上秋間、東上秋間、中秋間、下秋間、秋間みのりが丘
8. 後閑地区	下後閑、中後閑、上後閑



旧 松井田町域	
地区名	地区内の該当地域
9. 松井田地区	新堀、松井田
10. 臼井地区	横川、五料（両地域ともに一部都市計画区域外）
11. 坂本地区	峠、坂本、原、入山、北野牧、西野牧（坂本・原地域については一部都市計画区域外、その他の地域については全域都市計画区域外）
12. 西横野地区	人見、二軒在家、八城、行田
13. 九十九地区	下増田、高梨子、国衙、小日向（高梨子・国衙地域については一部都市計画区域外、その他の地域については全域都市計画区域外）
14. 細野地区	土塩、新井、上増田（全地域都市計画区域外）

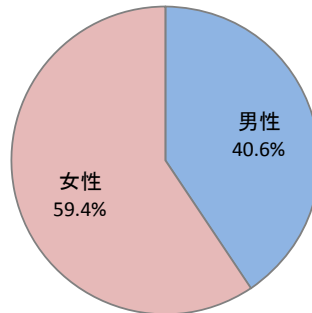
集計結果

1. 回答者の属性、居住履歴

(1-1) 性別

回答者のうち、40.6%の方が男性、59.4%の方が女性という結果になりました。

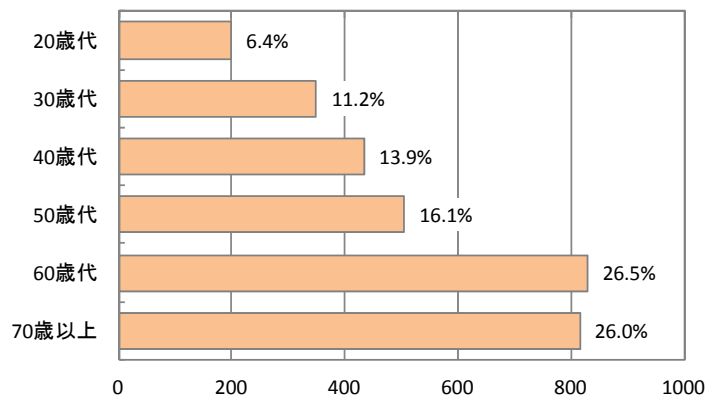
◆性別（有効回答数：3,124、無回答：53）



(1-2) 年齢階層

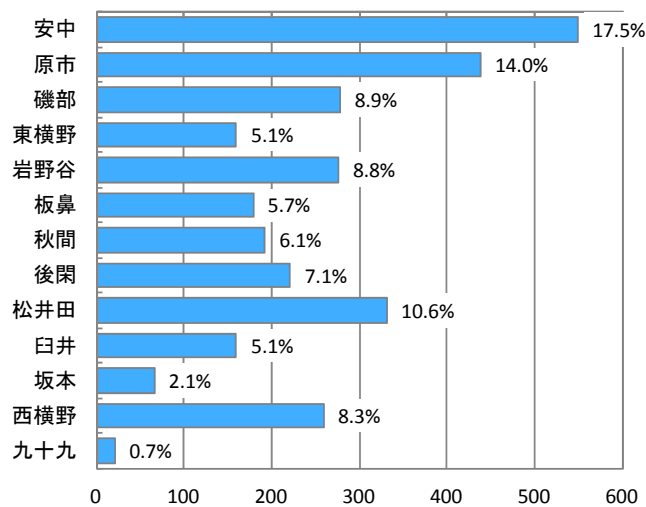
60歳代の回答者が26.5%と最も多く、次いで70歳以上の26.0%となっています。

◆年齢階層（有効回答数：3,132、無回答：45）



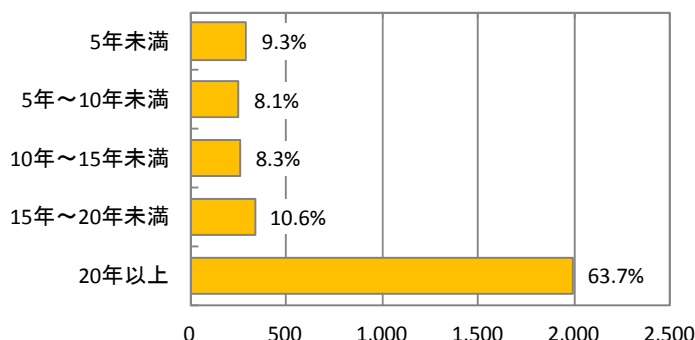
(1-3) 居住地区

◆居住地区（有効回答数：3,130、無回答：47）



(1-4) 現住地居住年数

◆現住地居住年数（有効回答数：3,127、無回答：50）

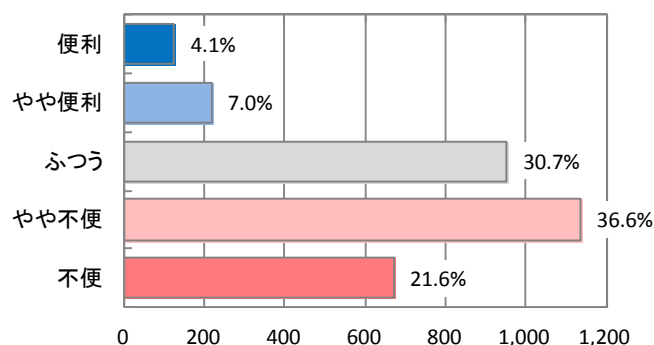


2. 都市の施設・機能の利便性の評価

(2-1) 都市の施設・機能の評価

安中市全体の施設や機能の利便性（便利さ）の評価を「便利」から「不便」までの5段階の選択肢で質問したところ、「やや不便」とする方が36.6%と最も多く、「便利」「やや便利」とする肯定的な回答は11.1%にとどまりました

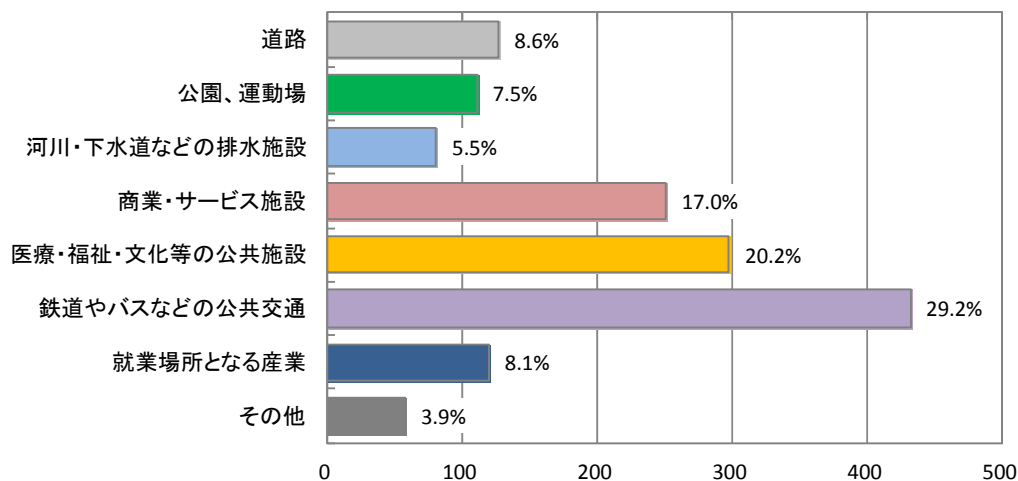
◆都市の施設・機能の評価（有効回答数：3,104、無回答：73）



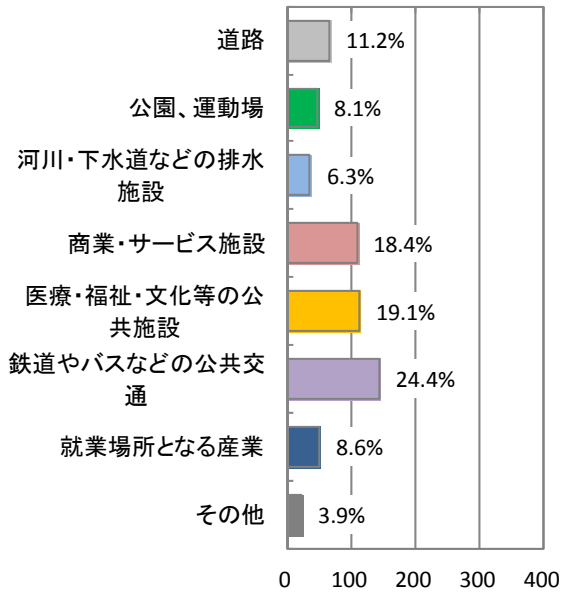
(2-2) 不便な施設・機能

前問で「不便」「やや不便」と答えた方に、特に不便を感じる施設や機能の種類を聞いたところ、最も多かったのが「鉄道やバスなどの公共交通」で29.2%と3割近くに上り、次いで「医療・福祉・文化等の公共施設」「商業・サービス施設」となっております。

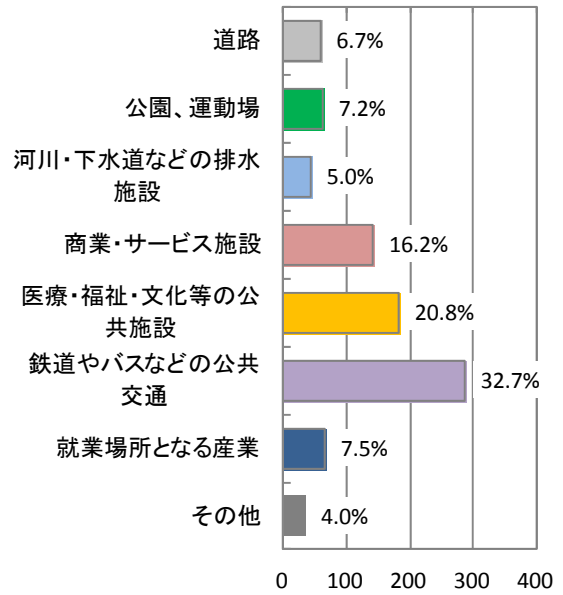
◆特に不便を感じる施設・機能（有効回答数：1,478、無回答：340）



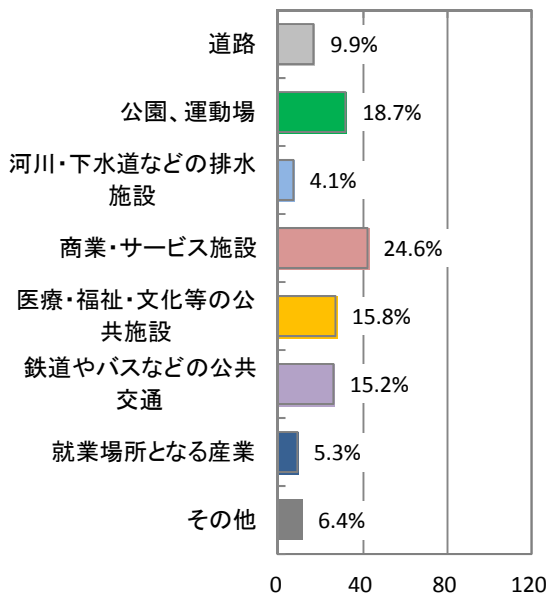
◆特に不便を感じる施設・機能【男性】
(有効回答数：591)



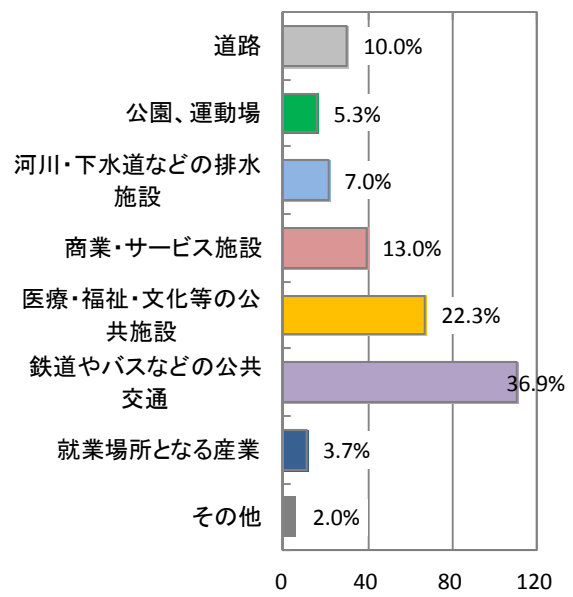
◆特に不便を感じる施設・機能【女性】
(有効回答数：879)



◆特に不便を感じる施設・機能【30歳代】
(有効回答数：171)



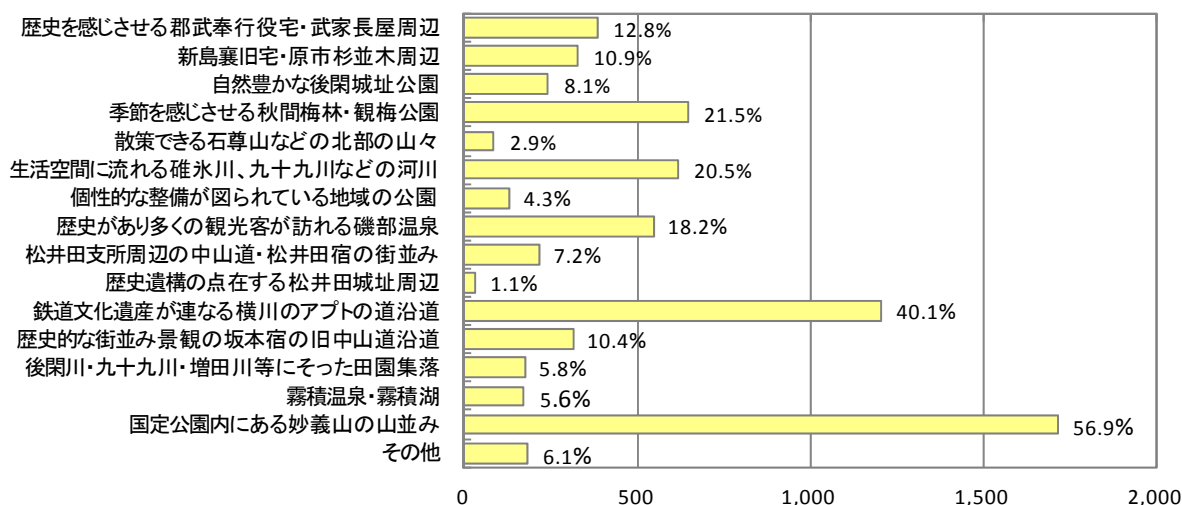
◆特に不便を感じる施設・機能【70歳以上】
(有効回答数：301)



3. 都市内の好きな場所（環境）

好きな（親しみを感じる）場所、環境を、選択肢のなかから3つ以内で選んでもらったところ、「妙義山の山並み」を選んだ方が56.9%と圧倒的に多く、次いで「鉄道文化遺産が連なる横川のアプトの道沿道」を選んだ方が40.1%と群を抜いています。

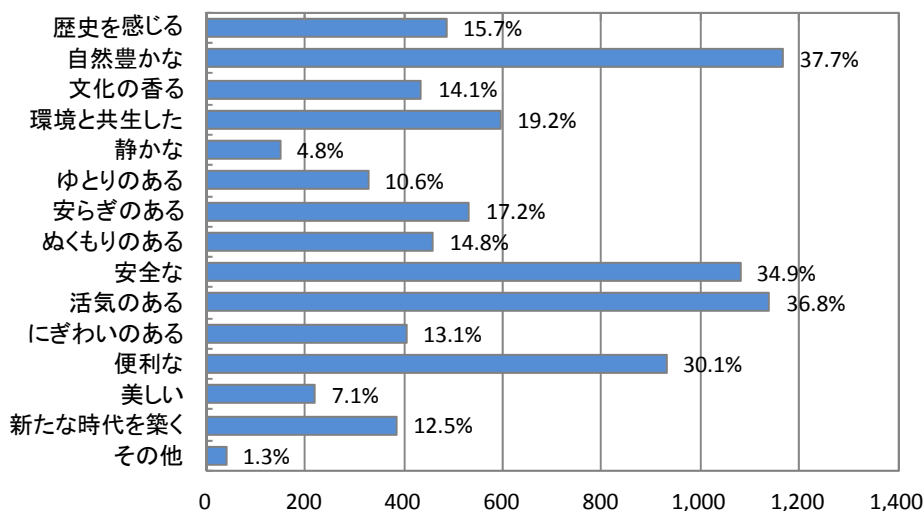
◆都市内の好きな場所・環境（有効回答数：3,013、無回答：164）



4. 目指すべき都市の将来像（キーワード）

安中市が目指すべき将来像を、キーワードを3つ以内で選ぶ形でお尋ねしたところ、「自然豊かな」「活気のある」「安全な」が1/3以上の方から選ばれ、「便利な」がそれに次いで3割以上の方から選ばれ、この4つのキーワードに支持が集中しています。

◆目指すべき将来都市像・キーワード（有効回答数：3,098、無回答：79）

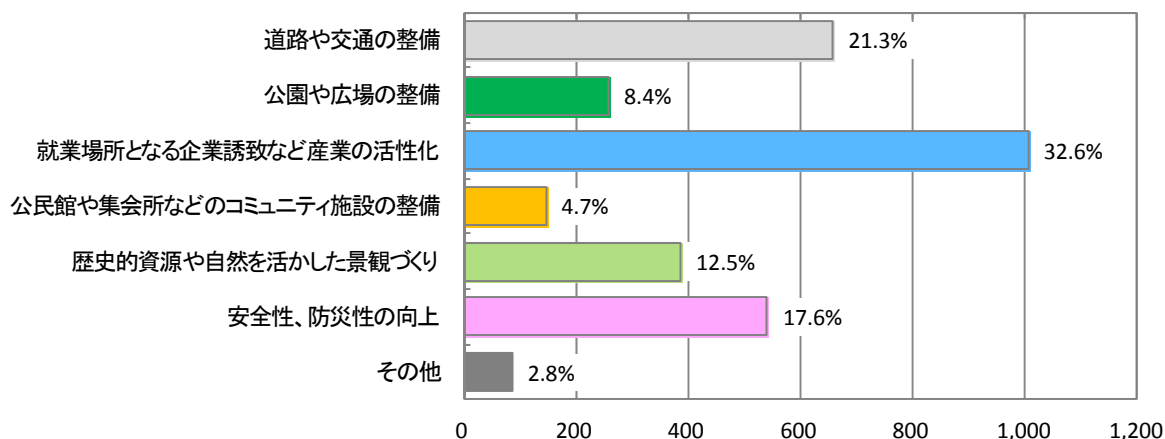


5. 重点的に進めるべきまちづくりの分野、事項

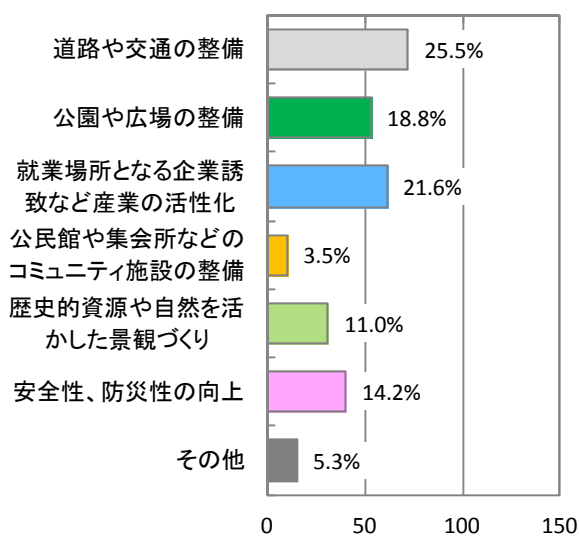
(5-1) 重視すべきまちづくりの分野・施策

安中市のまちづくりについて、どのような分野・施策を重視して進めるべきかを6つの分野を選択肢としてお聞きしたところ、「就業の場を確保する企業誘致等の産業活性化」を選択された方が32.6%と最も多く、次いで「道路や交通の整備」21.3%、「安全性・防災性の向上」17.6%となっています。

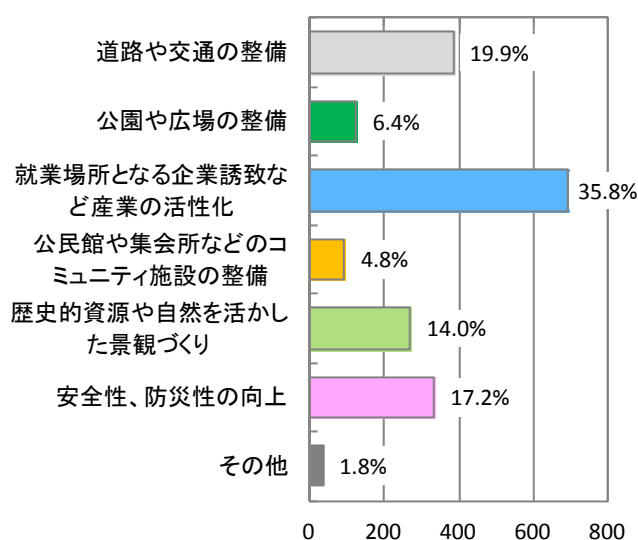
◆重視すべきまちづくりの分野・施策（有効回答数：3,079、無回答：98）



◆重視する分野・施策【居住歴5年未満】 （有効回答数：282）



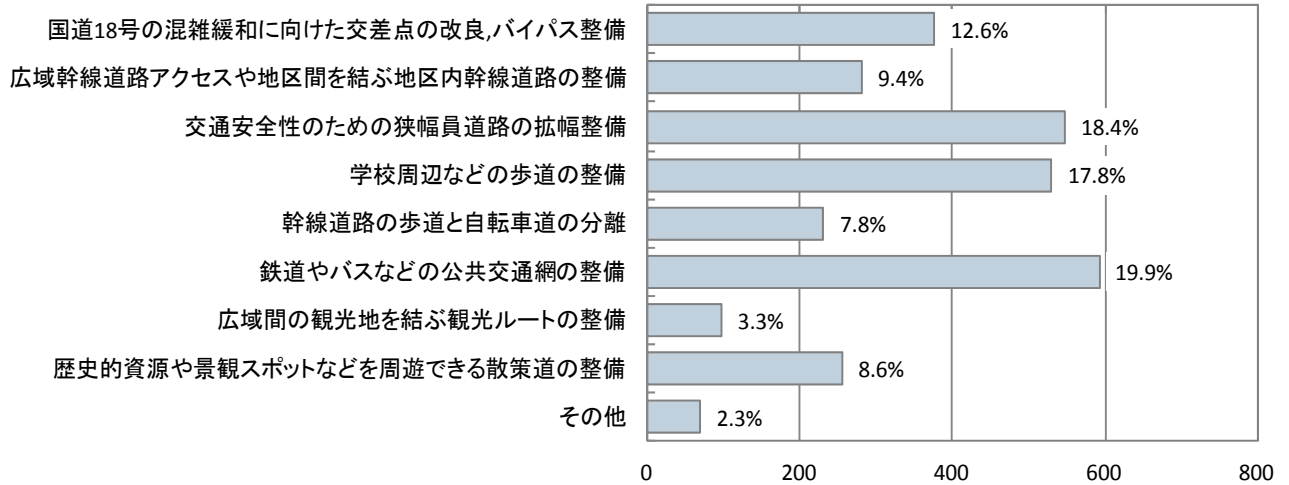
◆重視する分野・施策【居住歴20年以上】 （有効回答数：1,926）



(5-2) 道路・交通の整備で重視すべき事項

道路や交通の整備にあたって重視すべき事項としては、「鉄道やバスなどの公共交通網の整備」を重視する方が最も多く 19.9%、次いで「交通安全のための狭幅員道路の拡幅」「学校周辺などの歩道の整備」の交通安全のための道路整備が挙げられました。

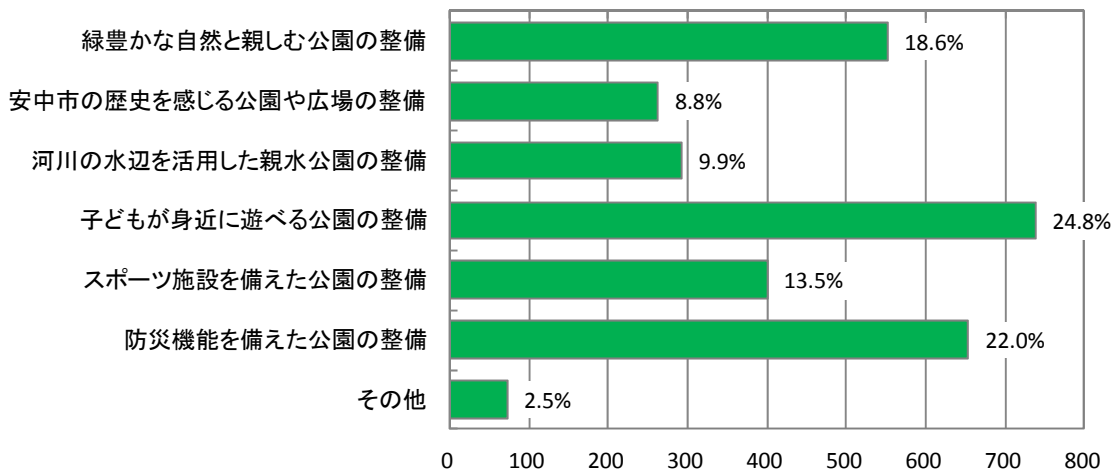
◆道路・交通整備の重視すべき事項（有効回答数：2,978、無回答：199）



(5-3) 公園・広場の整備で重視すべき事項

公園や広場の整備にあたって重視すべき事項としては、「子供が身近に遊べる公園」を望む方が 24.8%と最も多く、次いで、「防災機能を備えた公園」が 22.0%という結果になりました。

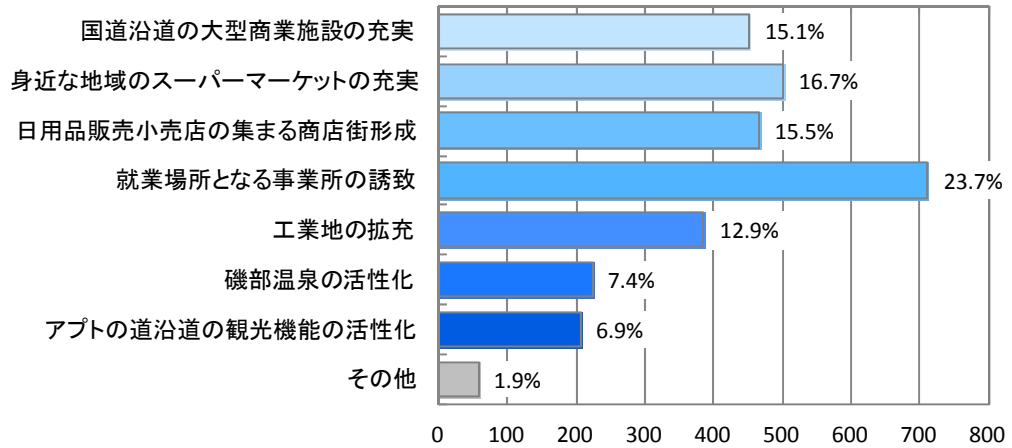
◆公園・広場整備の重視すべき事項（有効回答数：2,973、無回答：204）



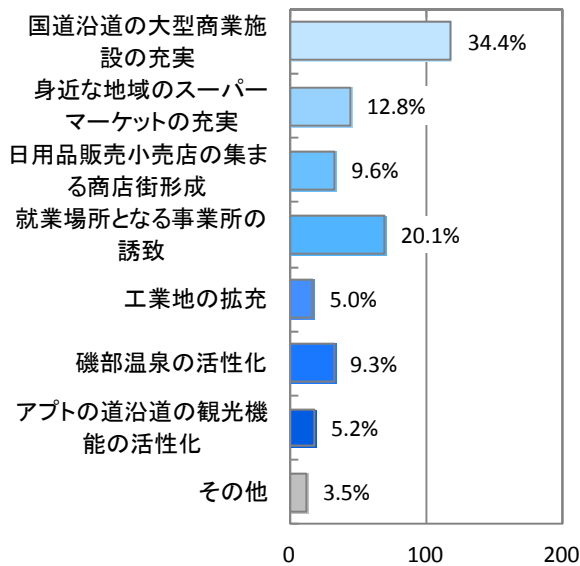
(5-4) 産業振興・産業系土地利用で重視すべき事項

地域産業の振興のためのまちづくり、産業系土地利用の誘導にあたって重視すべき事項としては、「就業場所となる事業所の誘致」を重視する方が最も多く 23.7%、次いで「国道沿道の大型商業施設の充実」「身近な地域のスーパーマーケットの充実」「日用品販売小売店の集まる商店街形成」の3つの地域商業機能の拡充の考え方が、15%程度のほぼ均衡した比率で選択されました。

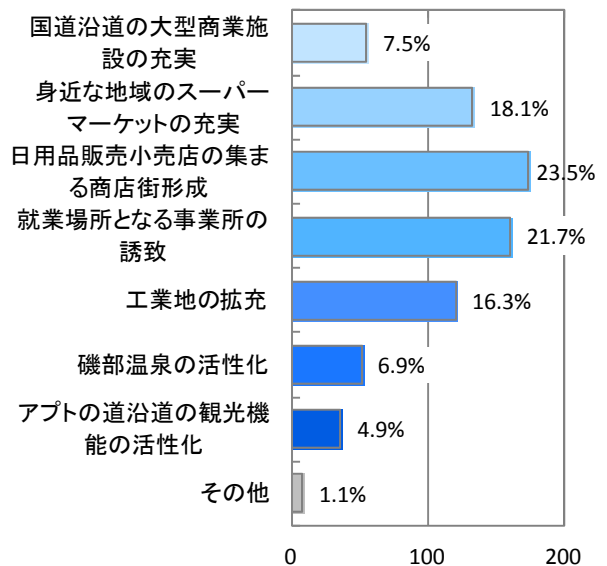
◆産業振興・産業系土地利用の重視すべき事項（有効回答数：3,003、無回答：174）



◆産業振興・誘導で重視すべき事項【30歳代】
（有効回答数：343）



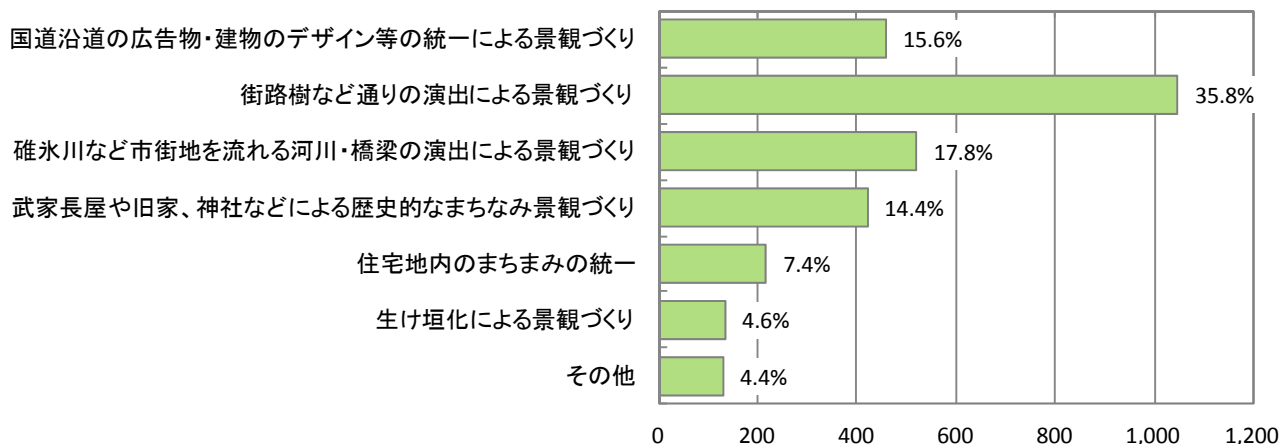
◆産業振興・誘導で重視すべき事項【70歳以上】
（有効回答数：736）



(5-5) 景観形成で重視すべき事項

都市の景観を形成していくにあたって重視すべき事項としては、「街路樹など通りの演出による景観づくり」を望む方が 35.8%と最も多い結果となりました。

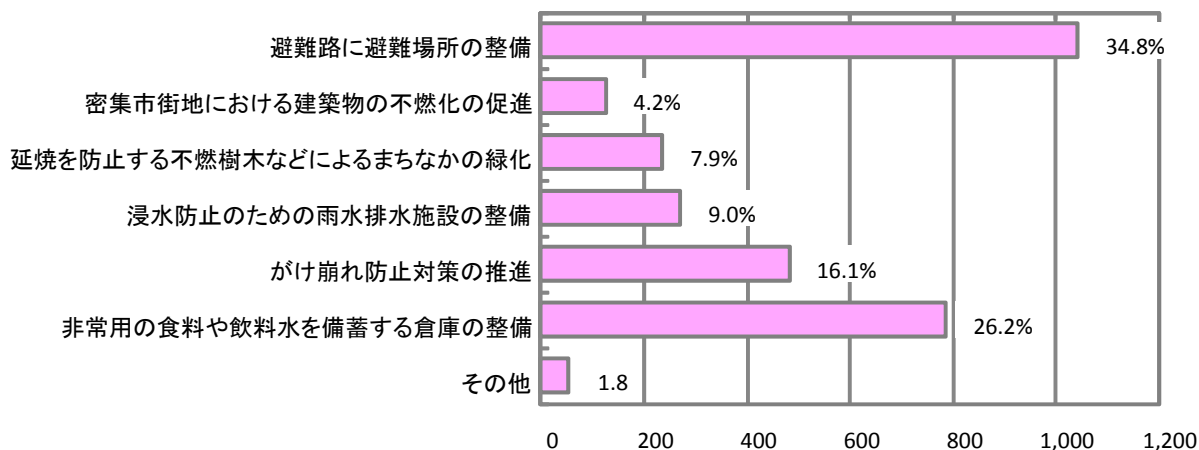
◆景観形成で重視すべき事項（有効回答数：2,927、無回答：250）



(5-6) 防災まちづくりで重視すべき事項

防災施策として、安全・安心まちづくりを進めるにあたって重視すべき事項としては、「避難路や避難場所の整備」が 34.8%、「食料や飲料水を備蓄する倉庫の整備」が 26.2%と一位、二位を占めました。

◆防災まちづくりで重視すべき事項（有効回答数：2,995、無回答：182）

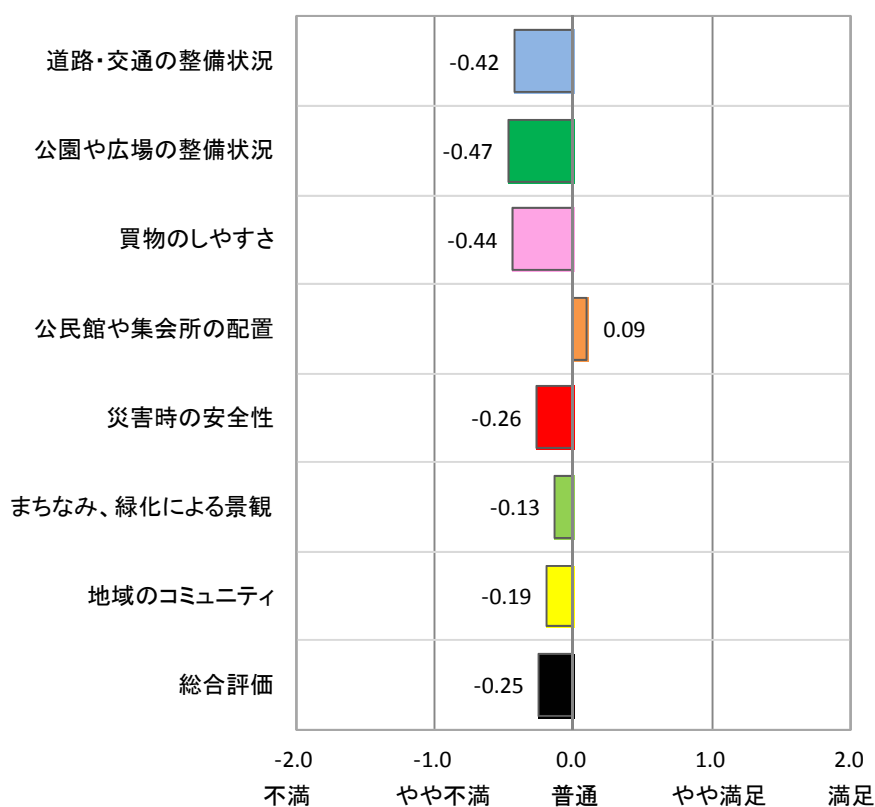


6. 地区の環境評価

- (6-1) 道路や交通の整備状況 (有効回答数：2,997、無回答：180)
- (6-2) 公園や広場の整備状況 (有効回答数：2,928、無回答：249)
- (6-3) 買物のしやすさ (有効回答数：3,004、無回答：173)
- (6-4) 公民館や集会所の配置 (有効回答数：2,967、無回答：210)
- (6-5) 災害時の安全性 (有効回答数：2,950、無回答：227)
- (6-6) 街並み、緑の景観 (有効回答数：2,941、無回答：236)
- (6-7) 地域のコミュニティ (有効回答数：2,966、無回答：211)
- (6-8) 地区環境の総合評価 (有効回答数：2,956、無回答：221)

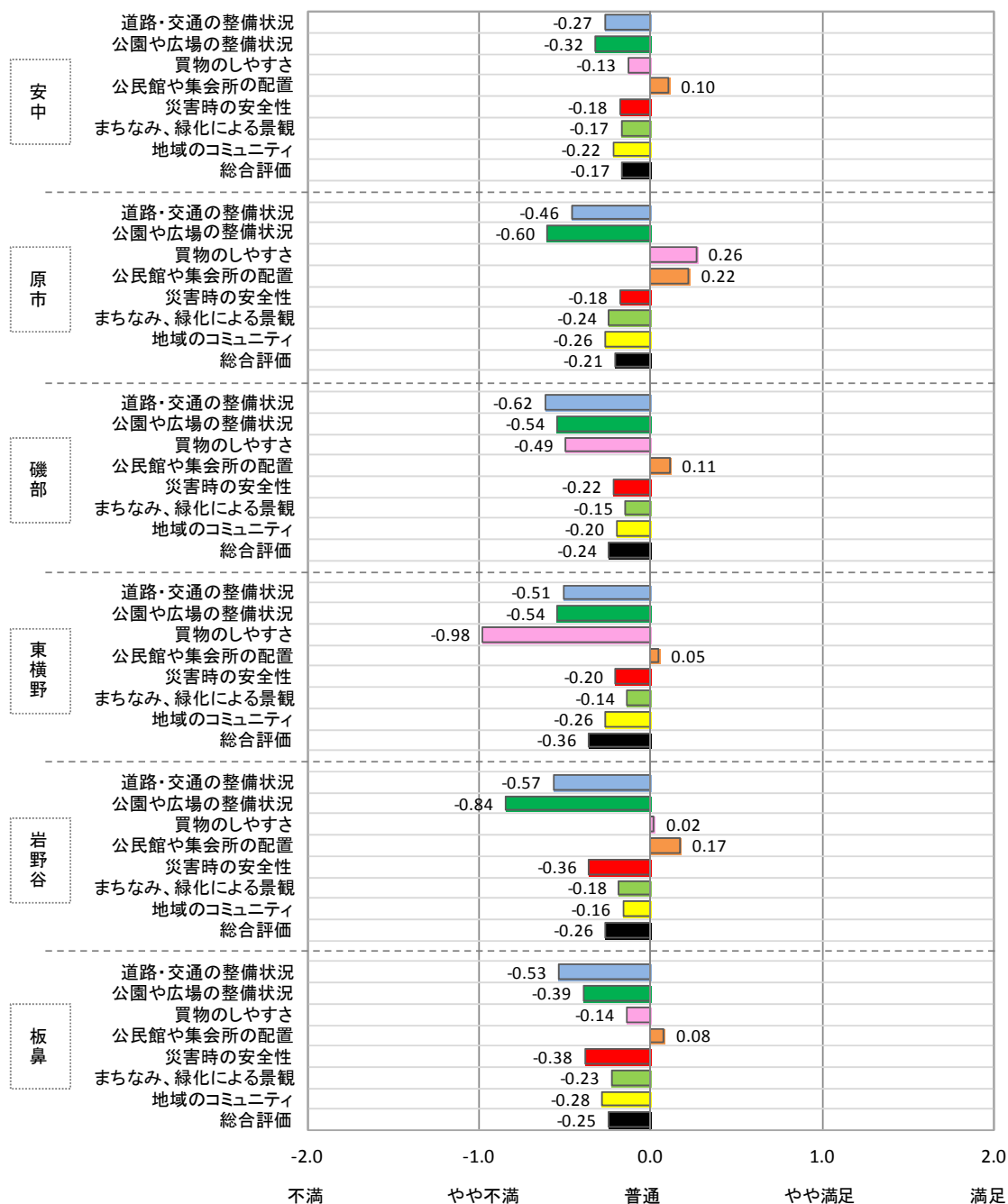
居住する地区の施設整備や環境の状況を、8つの施設・環境の項目ごとの満足度でお聞きし、満足：+2.0、やや満足：+1.0、普通：±0、やや不満：-1.0、不満：-2.0として指標化したところ、全体として、道路や公園などの基盤施設の整備状況と買物の便への評価が低く、総合評価も不満の領域の-0.25となりました。

◆地区環境評価指標 (満足：+2.0～不満：-2.0) 【全市平均】

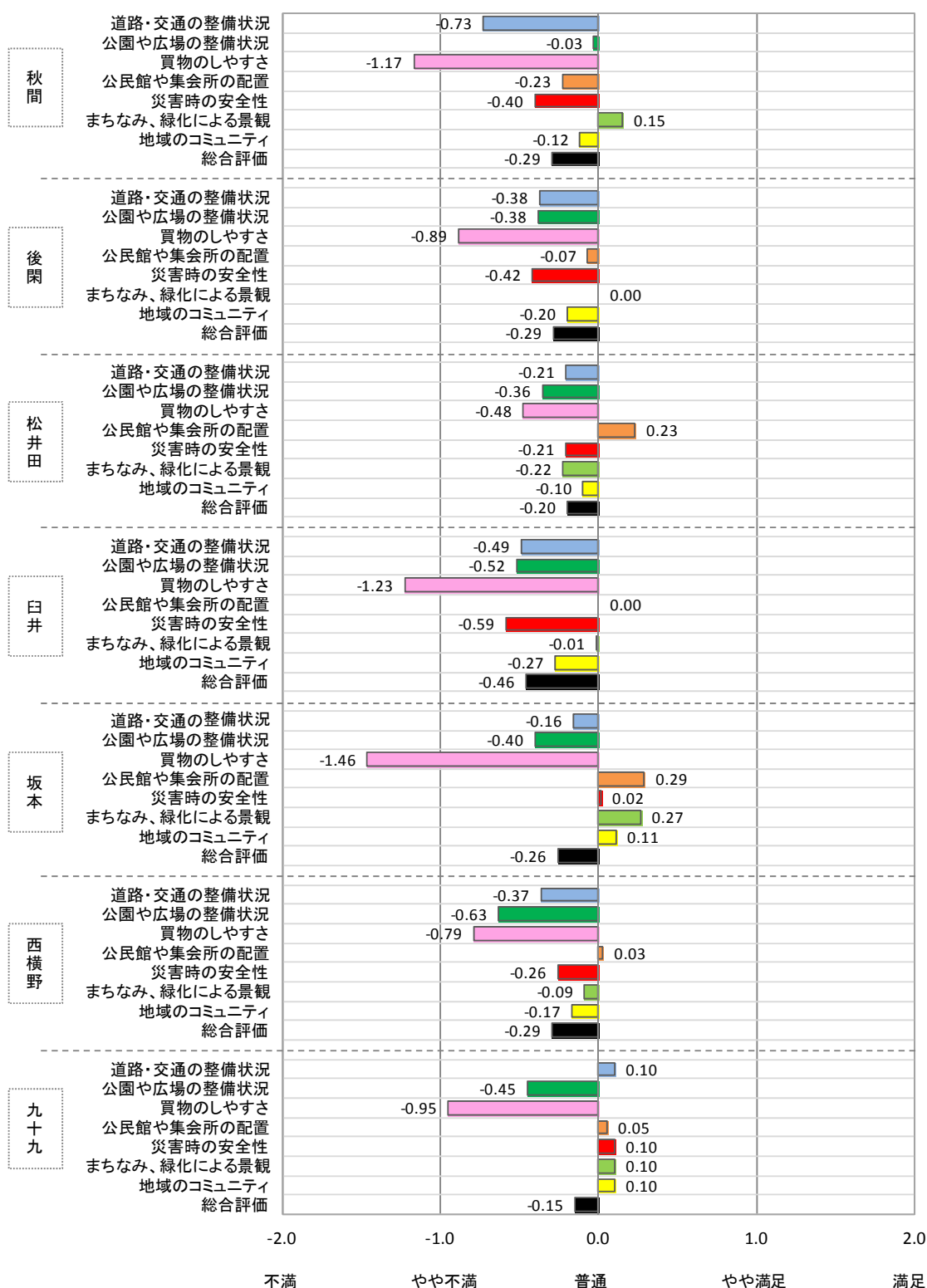


項目別に指標化された地区環境評価を市内13の都市計画区域を有する地区別にみてみますと、下記のグラフのとおりです。

◆地区環境評価指標（満足：+2.0～不満：-2.0）【13地区別】



◆地区環境評価指標（満足：+2.0～不満：-2.0）【13地区別（続き）】

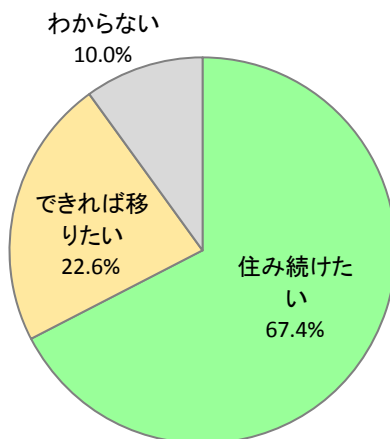


7. 居住継続意向と移転希望

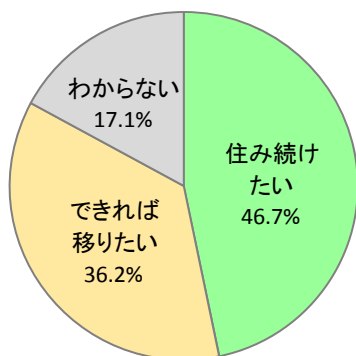
(7-1) 現住地における居住継続意向

現在の居住地に今後も住みたいかをうかがったところ、全市平均では2/3を超える67.4%の方が「住みたい」と居住継続意向をお持ちでした。

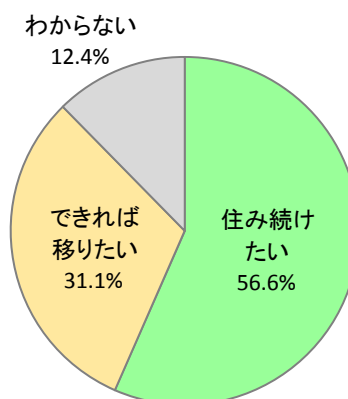
◆現住地における居住継続意向（有効回答数：3,116、無回答：61）



◆現住地における居住継続意向【20歳代】
（有効回答数：199）



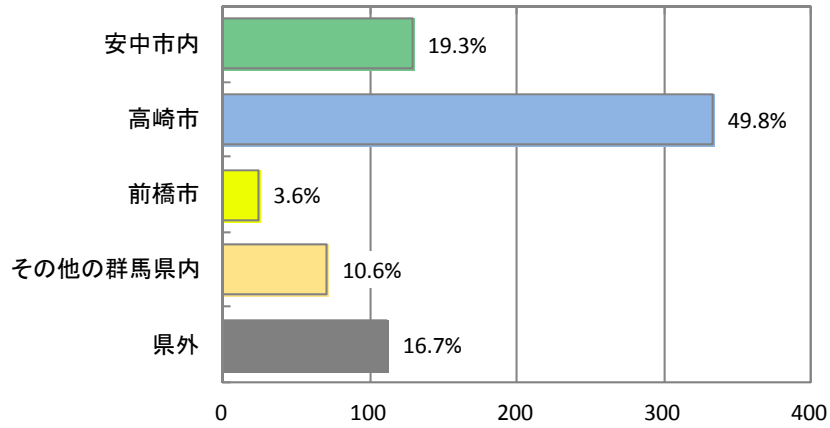
◆現住地における居住継続意向【居住履歴5～10年】
（有効回答数：251）



(7-2) 希望移転先

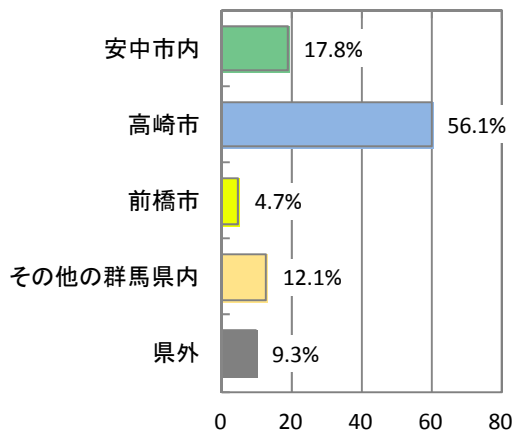
前問で「できれば移りたい」と答えた転居意向のある方に、希望移転先を「市内」「県内」などの5つの選択肢で問うたところ、「高崎市」が49.8%と半数近くを占め、「安中市内」の19.3%を大きく上回りました。

◆希望移転先（有効回答数：669、無回答：35）



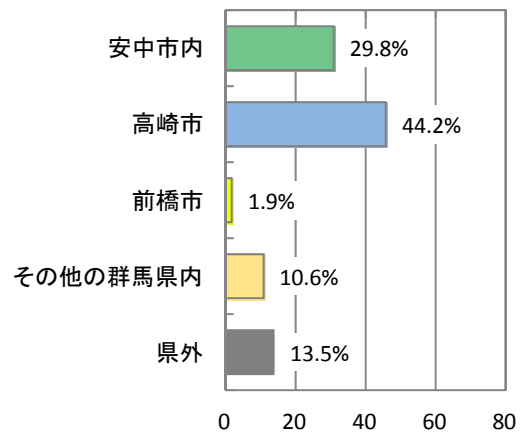
◆希望移転先【30歳代】

（有効回答数：107）



◆希望移転先【70歳以上】

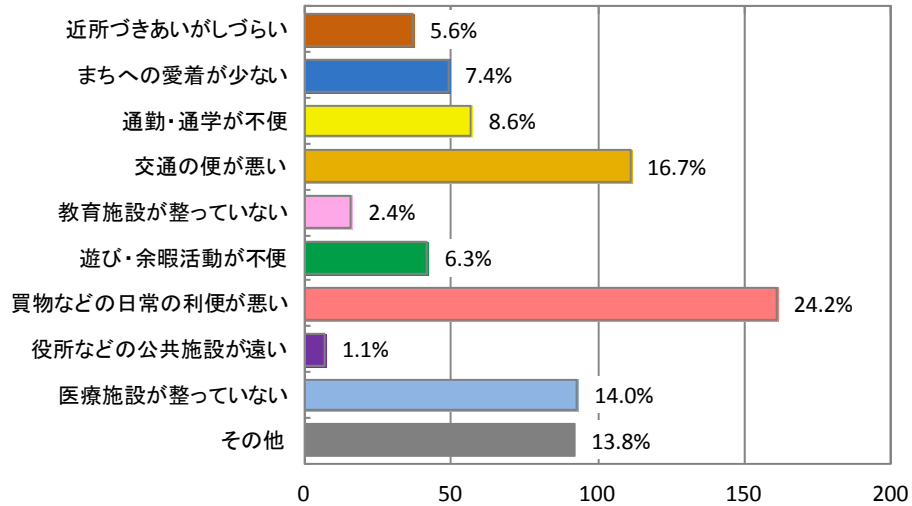
（有効回答数：104）



(7-3) 転居希望理由

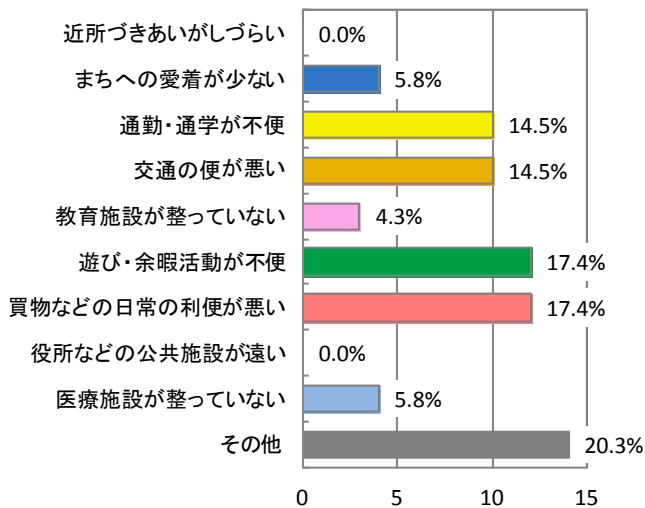
前々問で「できれば移りたい」と答えた転居意向のある方に、現住地からの転居を望む理由をお聞きしたところ、「買物などの日常の利便が悪いから」が最も多く24.2%、「交通の便が悪い」16.7%、「医療施設が整っていない」14.0%と、この3つが大きな理由になっています。

◆転居希望理由（有効回答数：665、無回答：39）



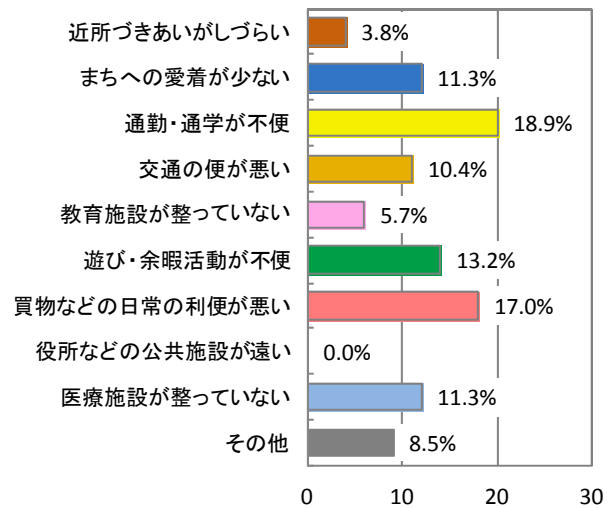
◆転居希望理由【20歳代】

（有効回答数：69）



◆転居希望理由【30歳代】

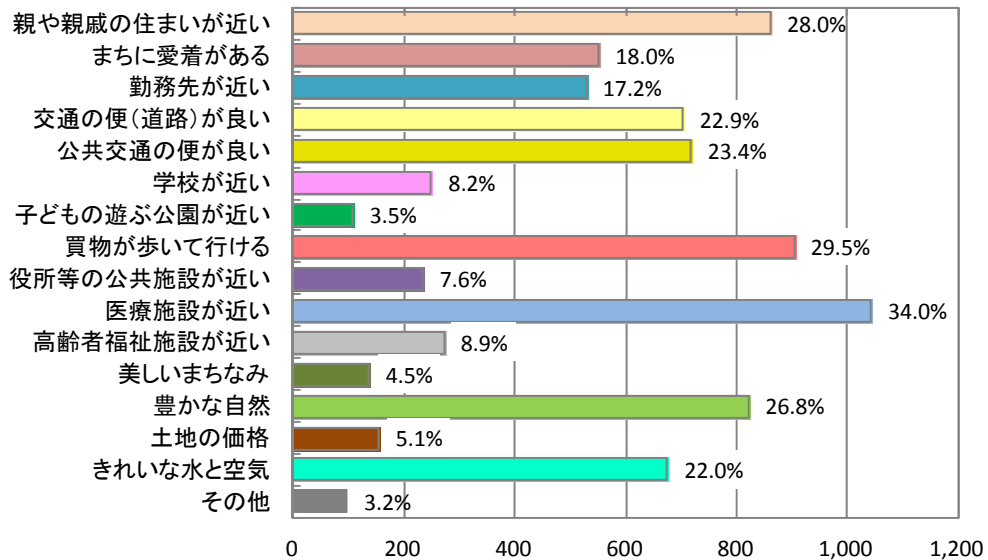
（有効回答数：106）



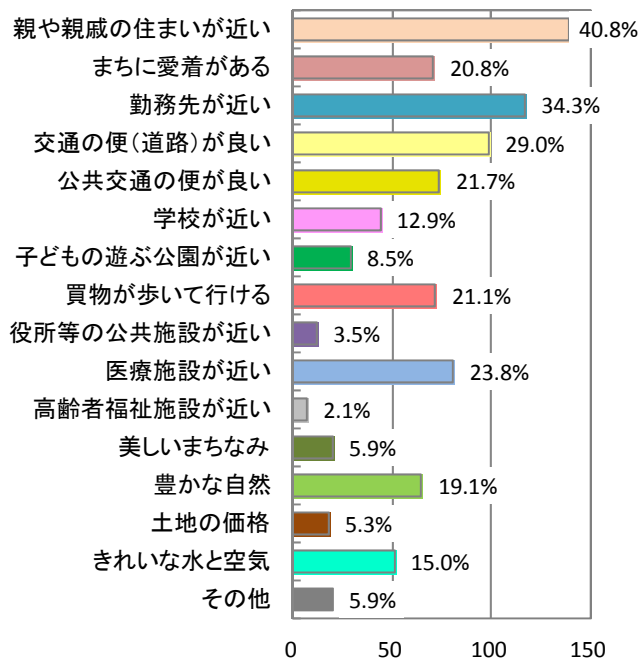
8. 永住地を選択する基準、重視する環境

永住地、終の棲家とする地を選ぶときに重視する事項、環境を選択肢のなかから3つ以内で選んでもらったところ、地区環境評価や転居希望理由で取り上げられた「買物などの利便」「交通の便」が選択の上位にきますが、なかでも「医療施設が近い」が最上位で34.0%の方が永住地選択の基準に挙げています。

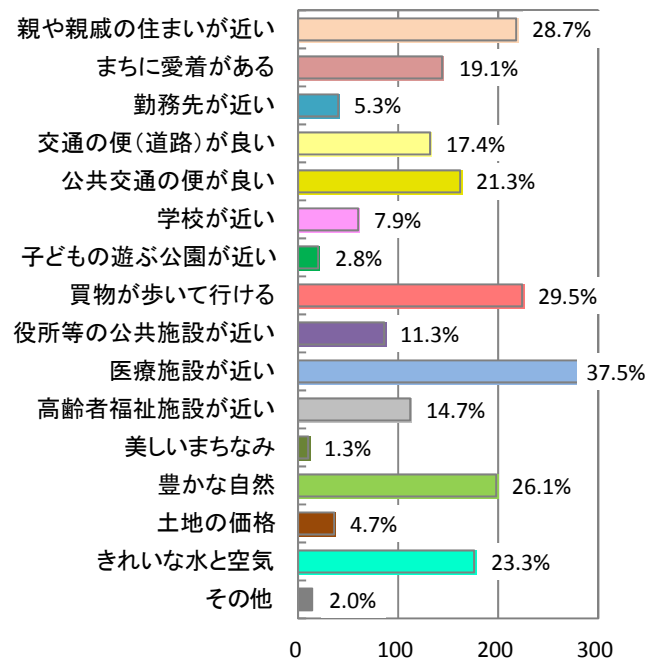
◆永住地選択基準・重視する環境（有効回答数：3,066、無回答：111）



◆永住地選択基準・重視環境【30歳代】 （有効回答数：341）



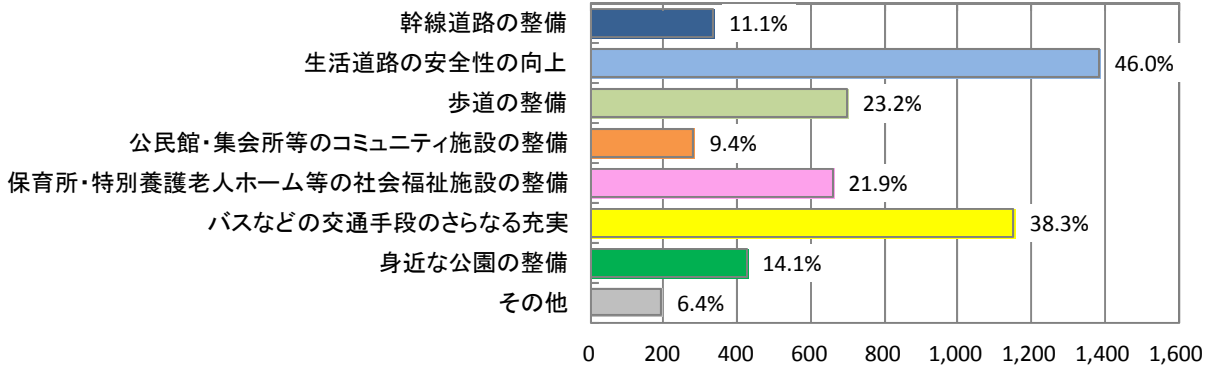
◆永住地選択基準・重視環境【70歳以上】 （有効回答数：760）



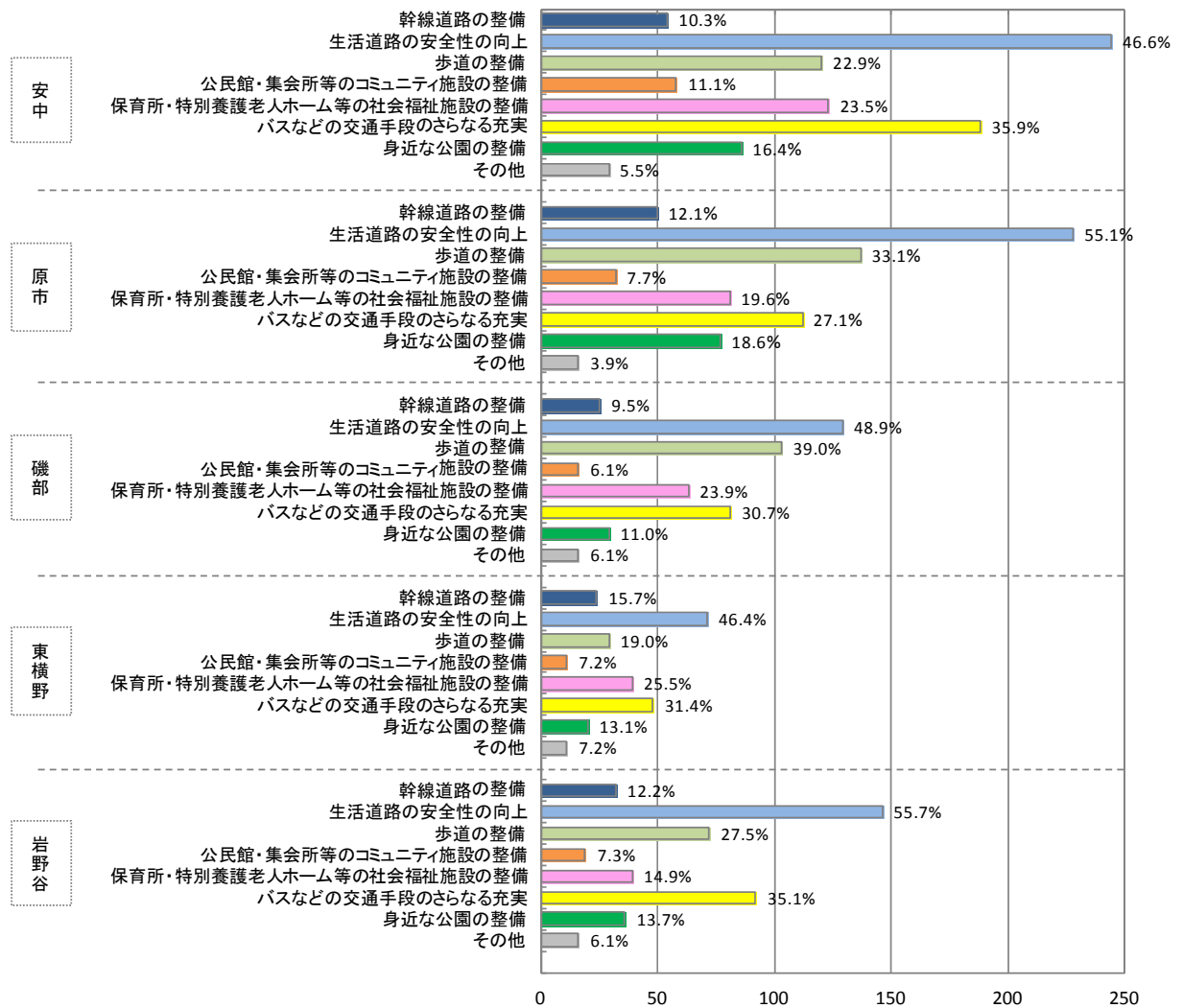
9. 地区で整備すべき施設・環境

居住している地区で、具体的に整備すべき事項（施設、環境）を選択肢のなかから2つ以内で選んでもらったところ、全市の平均では「生活道路の安全性の向上」が一位で46.0%、次いで「バスなどの交通手段の充実」が38.3%と多くの方が選択しています。

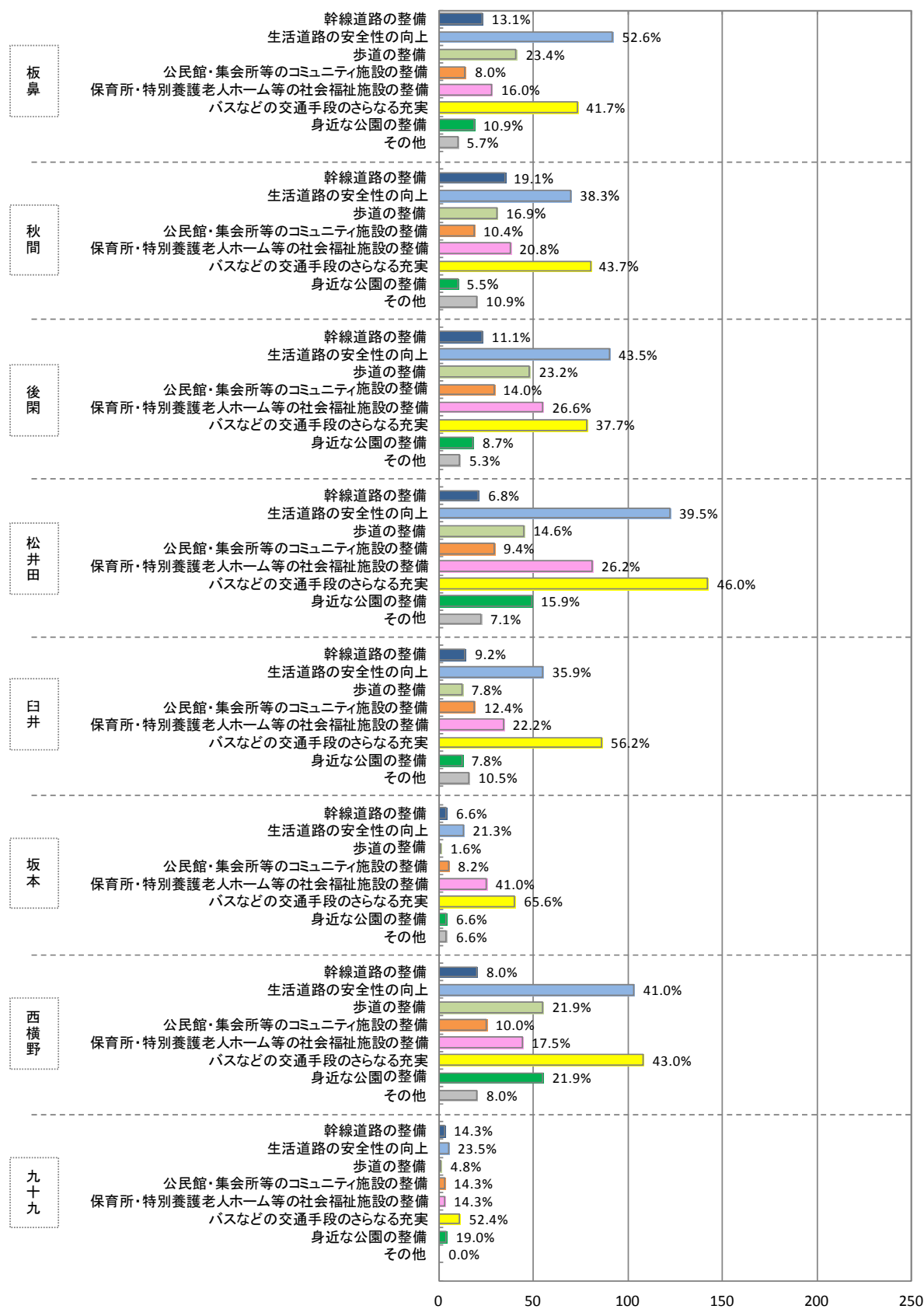
◆地区で整備すべき施設・環境（有効回答数：3,010、無回答：167）



◆地区で整備すべき施設・環境【13地区別】



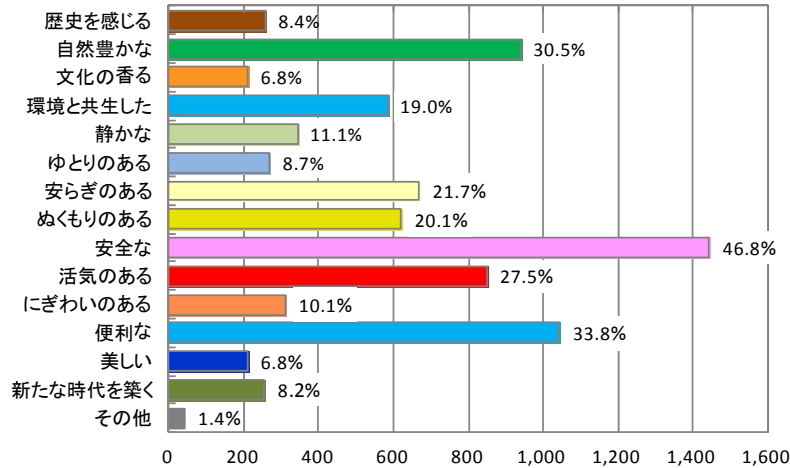
◆地区で整備すべき施設・環境【13地区別（続き）】



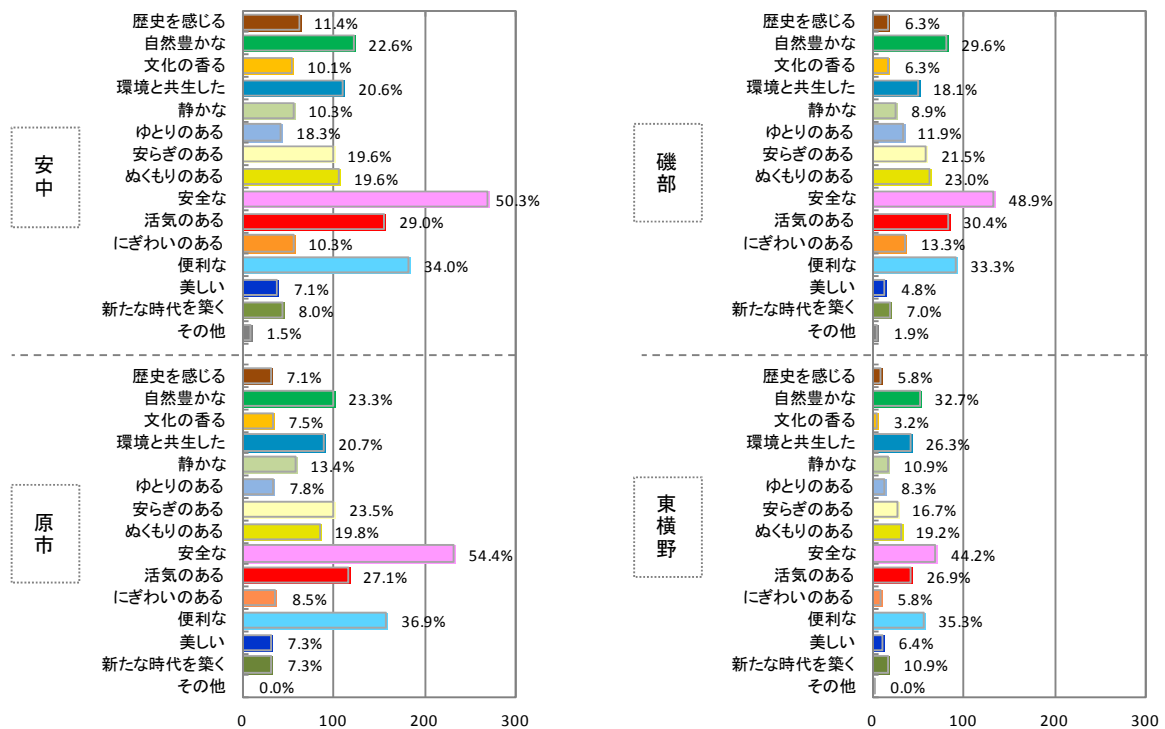
10. 地区の目指すべき将来像・キーワード

地区の目指すべき将来像のキーワードを選択肢のなかから3つ以内で選んでもらったところ、全市平均では「安全な」を挙げる方が最も多く46.8%と半数近くを占め、次いで「便利な」と「自然豊かな」が拮抗して3割以上を占めました。

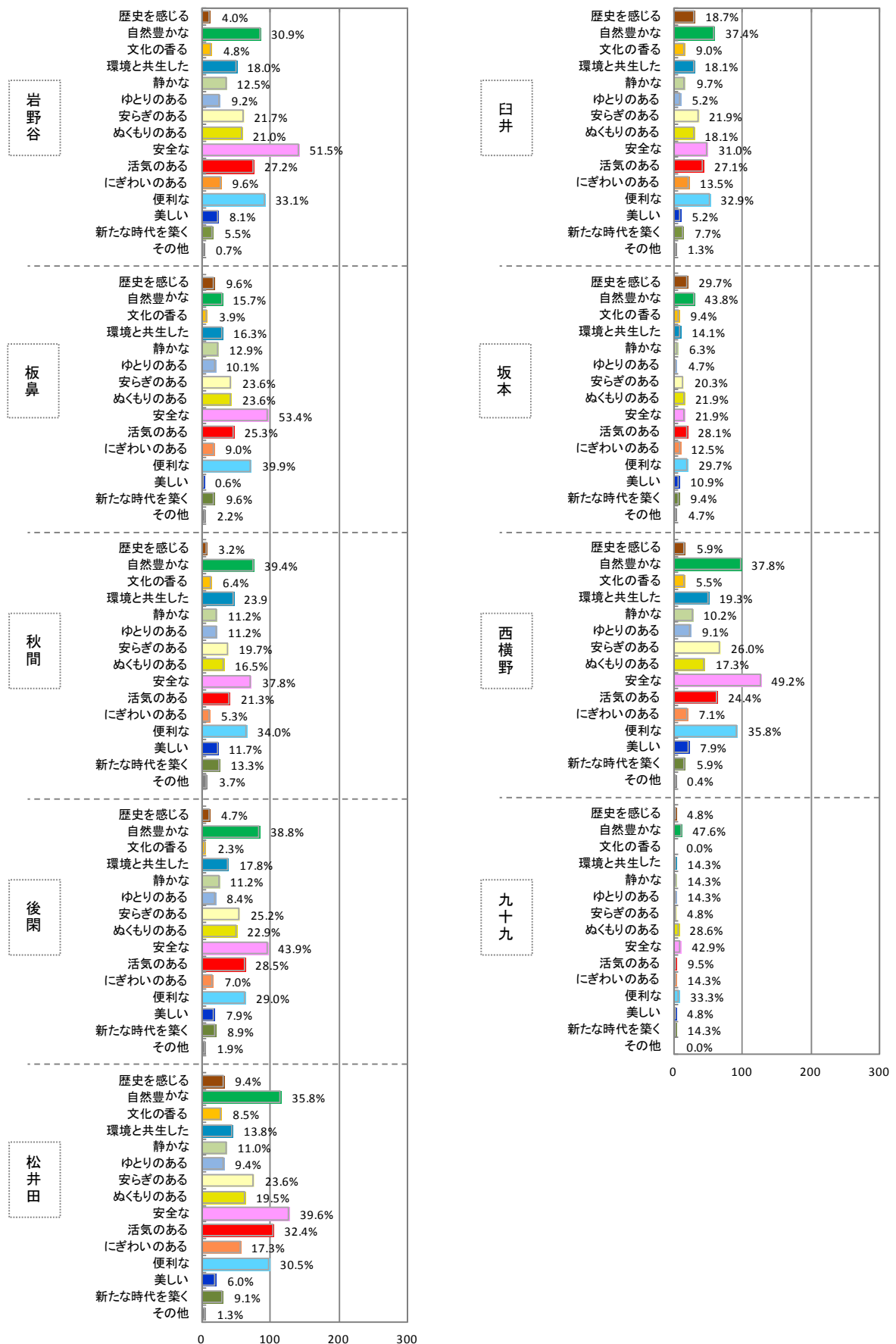
◆地区の目指すべき将来像（有効回答数：3,086、無回答：91）



◆地区の目指すべき将来像【13地区別】



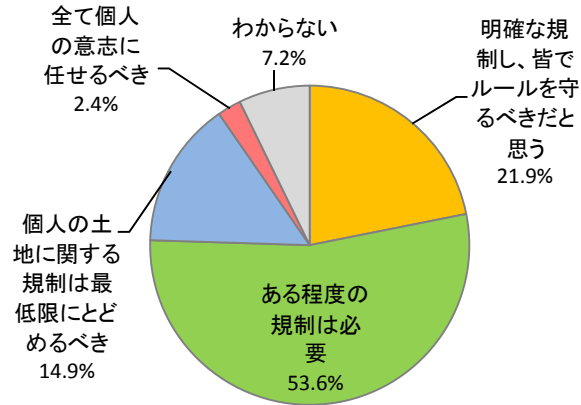
◆地区の目指すべき将来像【13 地区別（続き）】



11. まちづくりのルール、土地利用の規制誘導制度の必要性

計画的にまちづくりを進めるための土地利用のルール・規制誘導の制度についての考えをお聞きしたところ、「ある程度の規制は必要」とされる方の比率が最も多く53.6%と過半であり、「明確に規制し、皆でルールを守るべき」とされる方を合わせると、75%以上の方がまちづくりのルール・土地利用の規制誘導制度とその遵守の必要性を認め、個人の意志に任せるべきとされる方は少数にとどまりました。

◆土地利用のルール・規制誘導制度の必要性（有効回答数：3,078、無回答：99）

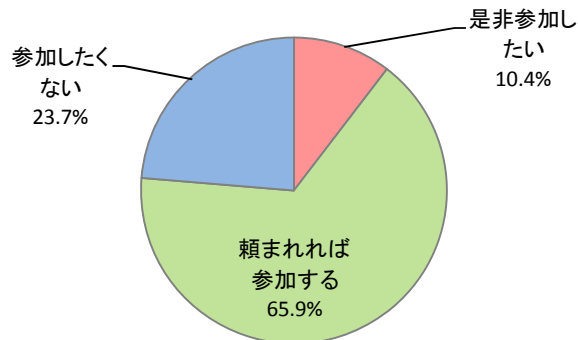


12. まちづくりへの参加の意向

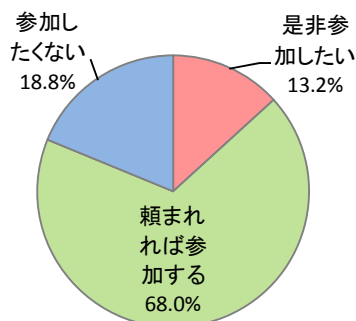
(12-1) まちづくりへの参加の意欲

行政と市民の協働により計画的なまちづくりに取り組むにあたって、参加の意欲をお聞きしたところ、「是非参加したい」とする方は1割にとどまりましたが、「頼まれれば参加する」とする方が、全体の2/3に及びました。

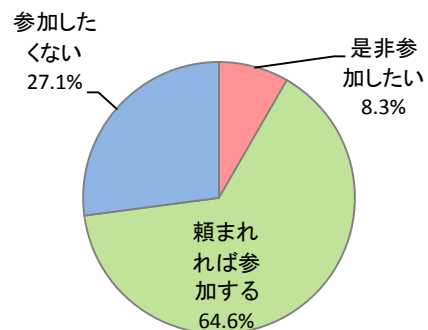
◆まちづくりへの参加の意欲（有効回答数：2,980、無回答：197）



◆まちづくりへの参加の意欲【男性】
（有効回答数：1,208）



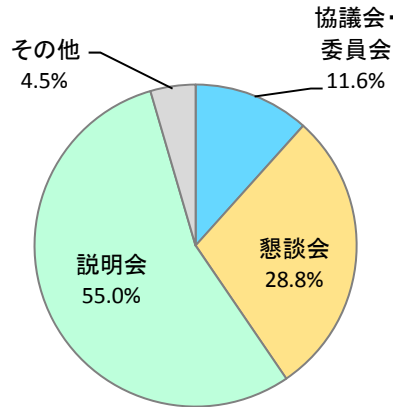
◆まちづくりへの参加の意欲【女性】
（有効回答数：1,732）



(12-2) 希望する参加形態（会議形式）

まちづくりへの参加手法として、希望する会議の形式をお尋ねしたところ、情報を受け取る受動的な参加形式である「説明会」を選択された方が55.0%と過半を占めましたが、「協議会・委員会」「懇談会」という能動的な参加機会を選択された方も40%に達しております。

◆希望する参加形態・会議形式（有効回答数：2,740、無回答：437）



(12-3) まちづくりに関する情報を得る手段

まちづくりに関する情報をえる手段として、希望する手段（媒体）をお尋ねしたところ、「広報・お知らせ版」を選択された方が89.8%と圧倒的多数を占めました。

◆まちづくりに関する情報を得る手段・媒体（有効回答数：2,983、無回答：194）

